

今年の安田記念、最大の焦点が香港馬2頭の取扱であることが異論はないだろう。**[15]** ウォイツジバブルは直近のマイラーレースで着、**[7]** ロマンチックウオリアーは香港C①着、QE II世C①着と、ともにGⅠレースで日本馬の挑戦を退けていたる強豪だ。その実力を、東京競馬場でも十全に發揮できるか。幸いにも両馬はともに、海外遠征・左回りコースを経験済みだ。その際のレース内容を通じて考える。ボイツジバブルのダービータイフは、日本オッズで3番人気位に推されたが**[13]** 着。コーナーでポジションを下げており、左回りへの対応という点では不安を残す。とはいってもこの大敗は接触不利の影響が大きい。エンジン全開の直前、というタイ

G.I.
を斬る

馬番連複オッズ
1 18 199 [7] 22.5 [16] 169 [12] 461
2 828 8 401 [7] 18.1 [13] 258
3 999 4 338 [9] 47.1 [8] 124 [14] 999
4 999 5 76.2 [10] 19.2 [—] 3 [15] 321
5 690 6 439 [11] 162 [9] 557 [16] 754
6 999 7 67.5 [12] 155 [10] 343 [17] 125
7 694 8 671 [13] 86.1 [11] 92 [12] 380
8 999 9 51.5 [14] 58.4 [12] 999 [13] 12
9 848 10 53.9 [15] 96.9 [13] 738 [13] 318
10 858 11 288 [16] 259 [14] 999 [14] 999
11 999 12 263 [17] 22.1 [15] 919 [15] 438
12 999 13 180 [18] 161 [16] 999 [16] 642
13 999 14 999 [19] 6 [17] 464 [17] 118
14 999 15 249 [7] 217 [18] 999 [18] 578
15 999 16 409 [8] 999 [9] — [19] 13
16 999 17 67.3 [9] 242 [10] 22.3 [14] 777
17 999 18 282 [10] 172 [11] 194 [15] 147
18 999 19 — [11] 451 [12] 149 [16] 474
19 2 15 172 [12] 679 [13] 127 [17] 66.8
20 1076 5 674 [13] 437 [14] 623 [13] 231
21 131 7 103 [14] 999 [5] 113 [14] 23
22 44.9 8 928 [15] 772 [16] 199 [15] 999
23 241 9 200 [16] 109 [17] 35.3 [16] 999
24 33.1 10 112 [17] 309 [18] 163 [17] 516
25 468 11 397 [18] 697 [19] — [18] 999
26 9.2 12 714 [19] 7 [11] 87.3 [19] 15
27 20.7 13 269 [8] 267 [12] 97.3 [16] 518
28 140 14 999 [9] 29.3 [13] 44.8 [17] 67.2
29 221 15 392 [10] 10.7 [14] 575 [15] 389
30 78.5 16 758 [11] 101 [15] 48.1 [18] 15
31 904 17 154 [12] 136 [16] 154 [17] 153
32 114 18 320 [13] 51.7 [17] 13.0 [18] 431
33 258 19 — [14] 456 [18] 83.2 [17] 17
34 32.5 20 233 [15] 28.8 [19] — [18] 83.4

東京4R ランデヴーローズ
年明けの3戦は距離が長かつた印象で、前走はダートでも積極的な立ち回りができていた。今回の条件なら見直し可能や！



これで
勝負

夙時にマイルチャンピオンシップを制したセリフオス。これまでのダイワメジックも不利ではない。大の魅力は昨年小差(4着)アファーチャス。



日刊競馬解説者

三

これで
勝負

10	-	15
7	-	15
7	-	10
11	-	15
12	-	15
15	-	17
2	-	15



BSイレブン解説者

—

安田記念 過去10回の成績

馬 番	馬 名	性 別	年 齢	斤 量	騎 手	勝 利 回 数	勝 利 時 間	通 過 順 位	人 気	單 勝	馬 連	勝 率
1	ヨウケイ	母	4	58	栗東 善	10	136.8	9[9][9][1]	0	170		
1/160	ジョシャタウェイ	牡	5	58	柴田 善	11	136.8	10[9][9][1]	0	170		
1/160	グラフリーピス	牡	6	58	三浦 淳	11	136.8	9[9][9][1]	6	18730		
1/160	シーウインママイティ	牡	6	58	北村 宏	3	134	10[5][5][1]	0	20330		
5/東京	モーリス	牡	4	58	川田 伸	1	32.0	5[5][3][3]	1	370		
1/160	ラベンサンセンヌ	牡	58	58	福永 幸	3	32.0	10[2][0]	3	1740		
1/160	クレントン	牡	6	58	辺 伸	11	6[5][4][2]	0	2680			
6/東京	ロゴマイフ	牡	58	58	辺 伸	11	133.0	10[1][1][1]	8	3690		
1/160	モーリス	牡	58	58	T・ペリー	11	132.2	10[1][1][1]	1	3230		
1/120	フィエロ	牡	58	58	内田博	7	9[9][9][6]	0	11580			
7/東京	サトナラティン	牡	6	58	川田 伸	1	31.5	10[4][1][5]	7	1240		
1/160	ロゴマイフ	牡	7	58	田辺 遼	1	32.0	10[1][1][1]	8	10480		
1/160	レッドファルクス	牡	6	58	M・デムー	7	13[4][3][3]	0	20410			
8/東京	ミスティックスト	牡	4	58	ルメール	1	31.3	10[9][1][2]	9	1570		
1/160	エアコリット	牝	4	56	牛嶋 崑	7	3[3][3][5]	0	7370			
1/160	スワーフリチャード	牡	4	58	M・デムー	3	5[5][5][1]	0	15290			
9/東京	インディチャップ	牡	58	58	福永 幸	1	30.9	3[3][4][5]	4	1920		
1/160	エアコリット	牝	58	56	牛嶋 崑	7	10[1][1][1]	3	5670			
1/160	アーモンドアイ	牝	4	56	ルメール	7	3[3][9][1]	1	13660			
10/東京	グラスアーレグリア	牝	4	56	牛嶋 崑	1	31.6	8[8][8][7]	3	1200		
1/160	アーモンドアイ	牝	5	56	ルメール	21	10[1][1][1]	1	650			
1/160	インディチャップ	牡	58	58	福永 幸	1	9[9][7][2]	0	2840			
1/160	ダノンキングリー	牡	5	58	川田 伸	1	31.7	8[8][8][8]	6	4760		
1/160	グラスアーレグリア	牝	5	56	ルメール	7	10[1][1][1]	0	12950			
1/160	シンネルマイスター	牡	3	54	横山樹	7	7[5][5][4]	0	12990			
2/東京	ソングライアン	牝	4	56	池添	1	32.3	7[1][0][0]	4	820		
1/160	シンネルマイスター	牡	4	58	ルメール	7	10[3][0][2]	0	1740			
1/160	サリオス	牡	58	58	レーン	5	7[1][9][8]	0	3740			
3/東京	ソングライアン	牝	5	56	牛嶋 崑	1	31.4	9[1][9][4]	0	740		
1/160	セリオフス	牡	4	58	レーン	14	6[4][5][3]	0	1890			
1/160	シンネルマイスター	牡	5	58	ルメール	7	4[4][5][1]	0	1240			

①馬連平均 5400円
 ②人気： [2332] 〔2人気： 〔0118〕 〔1人気： 〔1315〕]
 ③人気は堅調。伏兵に注意
 ④年齢傾向： 〔5328〕 〔4歳馬、G1連対があるが、2月以降に重賞連対：該当なし〕
 ⑤馬連 [34338] 〔5歳馬〕

六のヴィクトリアMを勝ち、フェブラリースでも③着。安田記念②②着アエロリットもクロフネ産駒。クロフネ自身もそうだったが、クロフネの血を受け継ぐ馬には、芝・ダート問わず東京の千六得意とする馬が多い。

東京11R ナミール

安田記念はVマイル組が6年連けて連対中。上がり最速マークが過去10年で4勝、②着2回。今年の狙い目はこの馬で、前走は出負けに加えて直線の進路取りもうまく行かず。鞍上2度目、マイルCSの豪脚を見直す。

東京芝1600m
ジョッキー
連対率ベスト10
①ルメール .468
②レーヌ .457
③川 田 .333
④戸 崎 .251
⑤田 辺 .239
⑥松 山 .238
⑦横山武 .224
⑧Mデムーロ .201
⑨武 豊 .159
⑩丸 山 .156
2019~2023年
50騎以上

▼安田記念にはダイワメジャード
直仔のセリフオスと、母の父に
その名が登場するナミユールが
出走する。ダイワメジャードの血
を持つ馬の、海外を含めたG1
格勝利は16勝。うち13勝が
マイリード集中する▲
▼ダイワメジャードは天皇賞。
5歳時には2000mの天皇賞
(秋)を勝ち、2500mの有馬
記念を二度も③着したのに、産
駒はマイラーがほとんど▲
▼さらに産駒は阪神JF3勝、
桜花賞、1歳馬C3
勝など、どちらかというと完成
されるのが早いタイプで、2つ
3歳時のG1勝ちが多い▲



▼昨年までのNHKマイルCの勝ち馬2頭はその後、千六で計7勝しかしでおらず、千四の重賞を勝つことが多い。
芝千六のG-I勝ちはミッキー・アイルとアドマイヤマーズだけ
で、安田記念は「07324」。
開催時期（馬場状態）の違いや3歳限定戦と古馬戦の違いによるのか、（特に近年の）NHK

この
決まり!
大川 浩史